

交通工学研究会

特別会員 各位

(一社)交通工学研究会

JSTEシンポジウム運営小委員会

前略

日頃より、一般社団法人 交通工学研究会の各種活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、当会では、当会活動のいっそうの活性化と地方展開、並びに交通技術水準の全国的な向上を趣旨として、令和元年度より「JSTE シンポジウム」を開催しています。昨年度の第2回は、札幌での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から完全リモートでの開催となりました。令和2年12月3～4日の2日間で実施し、全国から494名(大学52名、行政55名、民間245名、学生142名)の方々にリモートでご参加いただきました。第2回の参加状況につきましては、別添の「第2回JSTEシンポジウムセッション聴講者数・アンケート調査の集計結果」をご参照いただければ幸いです。

JSTE シンポジウムは、交通工学研究会における各種委員会等の講習会やセミナー、ミニシンポジウムなどの企画を併せ持ち、一度に様々な内容を体験することのできる、いわばショーケース的な位置づけのイベントとして、今後全国の地方都市を巡回し、毎年12月頃に開催します。交通工学に関わる最新の技術動向について情報を得ることができ、交通工学に携わる技術者や行政官のネットワークを拓ける機会となることを狙ったものです。研究者のみならず、行政機関や民間企業など実務に携わる方々の参加を特に期待しているものです。

第3回JSTEシンポジウムは、令和3年12月2日(木)～3日(金)の2日間の日程で、松山市総合コミュニティセンターにおいて開催します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、開催形態に変更が生ずる可能性もありますが、現時点では感染拡大防止対策を施したうえで、対面を中心とした方式(リモート配信も併用)で開催することを予定しております。

本シンポジウムでは、特別会員の皆様の中から、スポンサーを募集しております。特別会員各社の取り組みをより広く知っていただくとともに、全国各地における交通工学に携わる実務者、研究者、学生との交流機会として、ご検討いただければ幸いです。

なお、第3回JSTEシンポジウムにおいては、スポンサーとして携わっていただいた特別会員の皆様から頂いた貴重なご意見等を可能な限り反映し、スポンサーシステムの見直しを行うとともに、学生や地方自治体等の行政担当者にもより多く参加していただく仕組みを検討しております。本年度から、各社の実務研究や技術開発に関する情報を直接学生に伝えていただく「**実務研究紹介セッション**」の開催を試行します。より多くの学生に聴講の機会を与えるために、このセッションは、リモートで参加学生に配信

いたします。

つきましては、下記の趣旨にご賛同いただき、スポンサーをお引き受けいただける場合には、**別紙2**の  
スポンサー申し込みフォームにご記入いただき、**令和3年6月21日(月)までに**、交通工学研究会事務局(担  
当：北川，[jste-sympo@jste.or.jp](mailto:jste-sympo@jste.or.jp))までメールでご回答いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上  
げます。

草々

## 記

### 1. JSTEシンポジウムの概略プログラムとセッション区分

本シンポジウムでは、研究論文発表等の一般募集は行わず、すべて企画セッションにより構成されます。企画セッションは、次の3つの区分を予定しています：

- 1) 交通工学研究会の各種委員会等によるセッション
- 2) 特別会員によるスポンサードセッション
- 3) 地元特別セッション

上記の企画セッションの中身は、各セッションの企画に一任します。例えば、シンポジウムやパネルディスカッション形式のスペシャルセッション、企画テーマに関する研究発表・実務報告、小講習会、などが考えられます。

上記のほか、1日目には、交通工学研究会の活動紹介と基調講演を含む全体セッション、ならびに交流会を予定しています。これらの概略プログラムの現時点での案は、**別紙1**のとおりです。

### 2. スポンサーの区分

本年度は、スポンサーには次の表に示す2つの区分A, Bを設定させていただいております。

スポンサー区分	スポンサー料(税別)	シンポジウム広告、ポスター等へのスポンサーロゴの掲載	ブース・展示スペースの提供	スポンサードセッションの企画・運営	機関誌「交通工学」へのスポンサードセッション内容報告記事の掲載(事後)	特別招待券*の配布(1枚につき1名様)の参加登録費無料)	実務研究紹介セッションの運営(試行)**
A	¥200,000	○	○	○	○	○(10枚)	○
B	¥100,000	○	○	—	—	—	—

\*—昨年度の特別招待券は非会員の方に利用を限定しておりましたが、昨年度から、非会員の方を招待し交通工学のすそ野を拡げる趣旨は維持しつつ、特別会員の参加費として利用して頂くことも可能としました。

\*\*就職活動中の学生を対象に、各社の実務研究や技術開発等を紹介いただきます。来場する学生だけでなく、インターネットを介して全国の学生へインタラクティブに配信可能な形式といたします。なお、セッションの開催時間は質疑を含め各社30分程度と考えております。

### 3. スポンサーセッションについて(スポンサー区分Aの場合のみ)

スポンサー区分Aになっていただく場合、御社において、上記1.2)の「特別会員によるスポンサーセッション」の企画・運営をお願いします。 交通工学研究会の今後の看板イベントとなるJSTEシンポジウムの成功に向けて、御社のお力添えをいただければ幸いです。

スポンサーセッションの主な特徴は、次の通りです：

- スポンサーセッションは、プログラムに御社がセッションのスポンサーであることが明記されますので、御社の活動と技術力について絶好のアピールの場になることが期待されます。
- スポンサー費用として、1セッションあたり¥200,000(税別)のご負担をお願いします。
- スポンサーセッションは、御社の豊富なご経験を活かして、交通工学に関わる時宜を得た集客力のあるセッションの企画、運営をお願いするものです。このため、御社の事業内容のみを広報する場ではありませんが、御社の取り組まれた興味深い事例の紹介は歓迎します。また、例えば行政担当者や学識経験者・民間技術者などに話題提供を依頼して、スペシャルセッションを企画することなどが考えられます。たとえば、例として次のようなイメージですが、昨年度のセッションについては別添の「第2回JSTEシンポジウムセッション聴講者数・アンケート調査の集計結果」をご参照ください：
  - ・ ○○コンサルタント： 「生活道路における抜け道利用防止対策」
  - ・ △△株式会社： 「交差点における歩行者事故防止に向けて」
  - ・ ××エンジニアリング： 「道路事業評価のベストプラクティス」
  - ・ ...
- スポンサーセッションを実施する特別会員には、まず、セッション企画とセッションオーガナイザーの選定をしていただきます。セッションオーガナイザーには、セッション内プログラム編成、当日のセッション運営、セッション資料の取りまとめ等をお願いします。
- 応募者多数の場合や、類似テーマを提案された場合は、調整を行う場合があります。
- 対面を中心とした開催方式（リモート配信も併用）ですので、セッションオーガナイザーなど主要な登壇者は会場で発表していただくようお願いします。リモートの配信では、チャット機能の活用等、リモート開催ならではの進行方法の工夫を加えていただきますようお願いいたします。
- スポンサーセッションをご担当いただく各社が決まった段階で、セッション企画・運営方法に関する説明と、セッション内容の調整を必要に応じて行うために、スポンサー説明会を実施する予定です。

◆お問合せ： 一般社団法人 交通工学研究会（担当：北川，[jste-sympo@jste.or.jp](mailto:jste-sympo@jste.or.jp)）

Phone: 03-6410-8717(代) 050-5507-7153(IP)

Fax: 03-6410-8718

以上

## 第3回 JSTE シンポジウム(松山) 概略プログラム(案)

日程： 令和3年12月2日(木), 3日(金)の2日間

会場： 松山市総合コミュニティセンター(〒790-0012 愛媛県松山市湊町七丁目5番地)

<https://www.cul-spo.or.jp/comcen/>

開始時刻	終了時刻	時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
<b>&lt;第1日目(12/2)&gt;</b>						
8:00 会場準備開始						
8:50 受付開始						
9:20	11:00	100	企画セッション1	企画セッション8	企画セッション15	
11:00	11:50	50	昼食			
11:50	13:00	70	全体セッション			
13:00	13:10	10	休憩			
13:10	14:50	100	企画セッション2	企画セッション9	企画セッション16	実務研究紹介セッション1, 2, 3
14:50	15:00	10	休憩			
15:00	16:40	100	企画セッション3	企画セッション10	企画セッション17	実務研究紹介セッション4, 5, 6
16:40	17:00	20	移動			
17:00	18:30	90	交流会(会費制)			
<b>&lt;第2日目(12/3)&gt;</b>						
8:00 受付開始						
8:30	10:10	100	企画セッション4	企画セッション11	企画セッション18	
10:10	10:20	10	休憩			
10:20	12:00	100	企画セッション5	企画セッション12	企画セッション19	
12:00	13:00	60	昼食			
13:00	14:40	100	企画セッション6	企画セッション13	企画セッション20	実務研究紹介セッション7, 8, 9
14:40	14:50	10	休憩			
14:50	16:30	100	企画セッション7	企画セッション14	企画セッション21	実務研究紹介セッション10, 11, 12
片付け, 撤収						

- ・企画セッションは各100分, 実務研究紹介セッションは30分程度
- ・企画セッション数最大21(各委員会セッション, スポンサーセッション, 地元特別セッション)  
うち, スポンサーセッションは8~10程度
- ・全体セッションは, 会長挨拶, 各委員会報告, 基調講演